



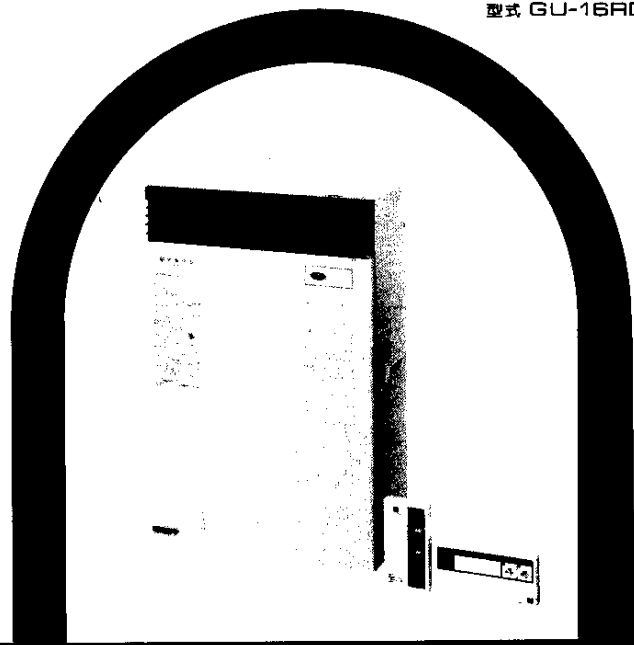
ガス風呂釜〈電子コントロール比例制御方式〉
〈セントラル給湯機能付き〉

取扱説明書

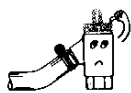
31-054型

保証書付

型式 GU-16AD-B



ガスゴム管も
ときどき点検
よいゴム管を
カッチリと



ガス器具を
お使いになった
あとは必ず、
もとコップも
閉める習慣を



空だきには十分
注意しましょう。



ガス器具は
ガスの種類にあった
正しいものを

●ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
なお、ご不明な点があれればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

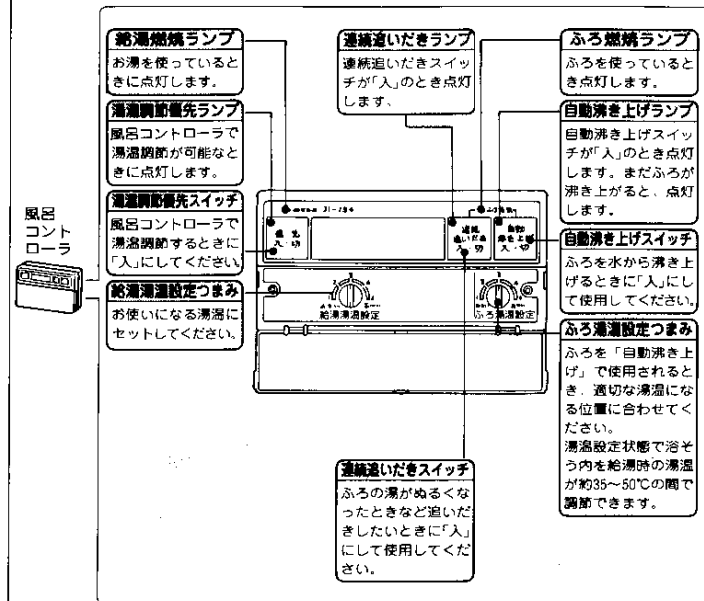
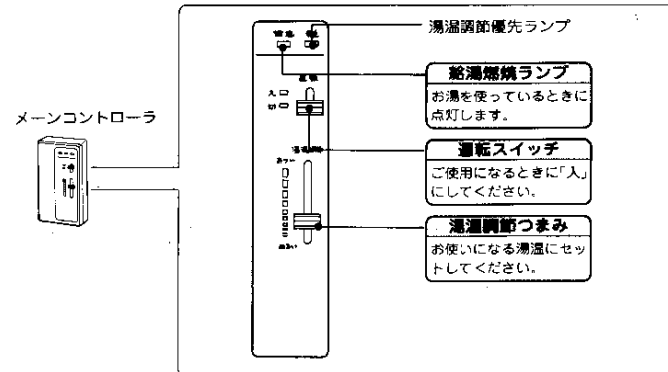
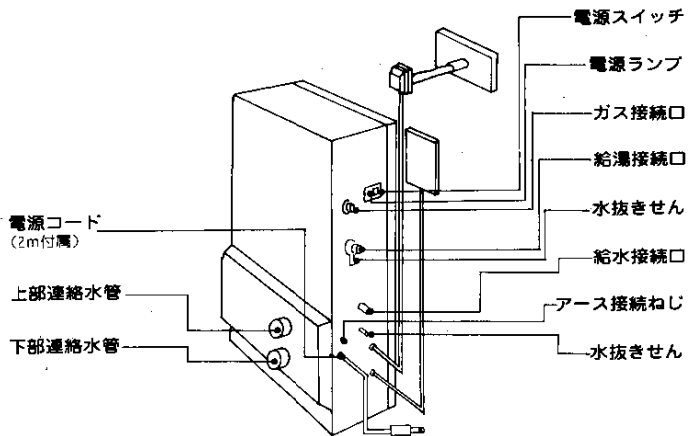
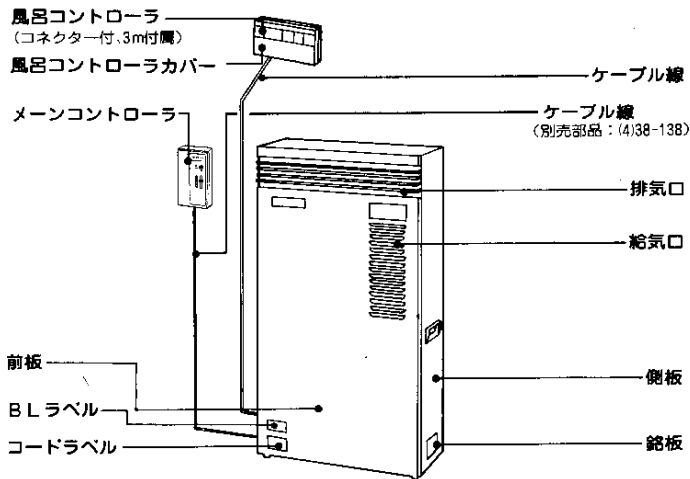
ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス風呂釜〈セントラル給湯機能付き〉を、お求めいただきまして、ありがとうございます。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保存してください。

もくじ

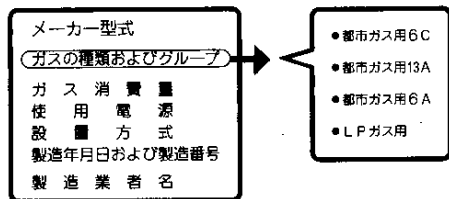
●各部の名称	1
●特に注意していただきたいこと	3
●器具の設置	7
●使用手順	8
●使用時のご注意	18
●凍結防止について	20
●日常の点検・手入れ	22
●故障・異常の見分け方と処置方法	24
●長期間使用しない場合	25
●アフターサービスのお申し込み	26
●寸法図と仕様一覧表	27
●別売部品のご紹介	29



安全に正しくお使いいただくためにこの項は必ずお読みください。

- ガスの種類を確かめてください。

ガス器具本体右側面下部にはってある銘板(ラベル)に表示のガスの種類と、お宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。



- ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスには、ガスグループの区分があります。
- 転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

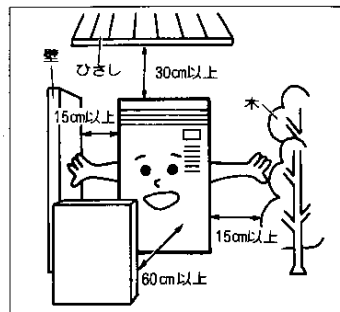
- ガス器具本体右側面下部にはってある銘板(ラベル)に表示してある電源(電圧・周波数)以外の電源では使用しないでください。

- 台所・シャワー・洗面などの給湯およびふろの沸き上げ、追いだし以外の用途には使用しないでください。

- この器具用の付属品・補助用具以外は使用しないでください。
(不完全燃焼などの原因になります)

- 市販の湯ざめ防止器、または簡易シャワーセットなどを取り付けて使用しないでください。(器具の異常過熱などの原因になります)

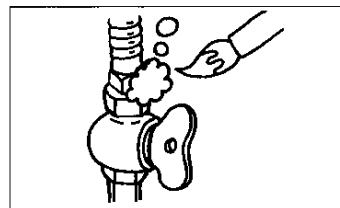
- 壁、その他の可燃物から十分離れている場所で使用してください。



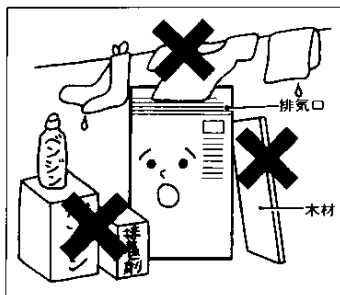
- 使用後は、燃焼ランプが消えたことを確かめてください。

- 長期間使用しないときは、メインコントローラの運転スイッチおよび本体電源スイッチを切りガス元せんを閉めてください。

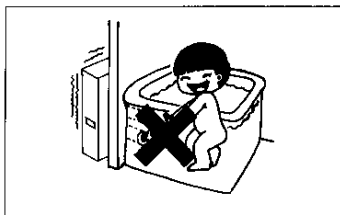
- 配管や器具との接続部からガスが漏れていないか、ときどき石けん水などで調べてください。



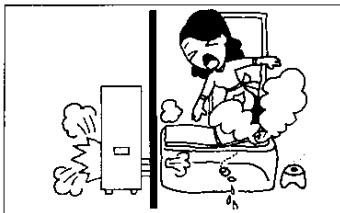
- 器具の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。特に、排気口は洗たく物などでおおわないでください。



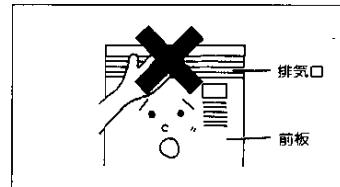
- ふろがまと浴そうを接続している上下水管口をタオルなどでふさがないでください。



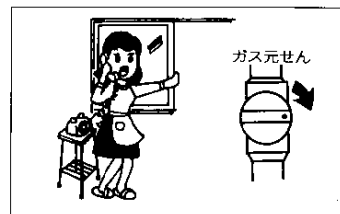
- おふろを空だきさせないようにご注意ください。そのために次のことを必ず実行してください。
 - ①排水せんは確実にしめてください。
 - ②点火前にもう一度、水面が上部水管口より10cm以上高くなっているか確かめてください。



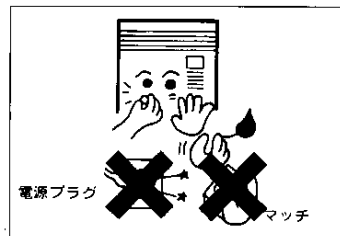
- 使用中および消火直後は、前板や、排気口が高温になっていますので、絶対に手を触れないでください。



- ガス漏れに気づいたときはすぐ使用をやめ、ガス元せんを閉め、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス社にご連絡ください。



- 万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、換気扇その他電気器具に触れたり(スイッチの入、切や電源プラグの抜き差しなど)しないでください。火や火花で引火し爆発事故をおこすことがあります。



- 冬期は、寒冷地だけでなく、暖かい地方でも急な寒波のため器具内の水が凍って、器具を破損することがあります。詳しくは、20～21ページの「凍結防止について」をお読みください。

- 万一、異常燃焼(メインバーナー着火時や使用中に“ゴー”と音のするような燃焼)をおこしたときや、緊急の場合には、下図の処置をし、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社に連絡してください。

1. 給湯せんを閉める。



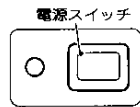
お湯の
使用場所

2. 運転スイッチを切る



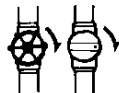
メイン
コントローラ

3. 電源スイッチを切る。



器具の左側

3. 給水元せん・
ガス元せんを
閉める。



元せん

- 日常の点検・手入れは、必ず行なってください。
(詳しくは22~23ページをお読みください)

- 故障または破損したと思われる場合は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス社にご相談ください。不完全な修理は危険です。

(詳しくは工事説明書をお読みください)

- 器具の設置は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社に依頼してください。
- ご使用前に工事説明書通り正しく設置されていることを確認してください。

1. 給水元せんを全開に
してください。



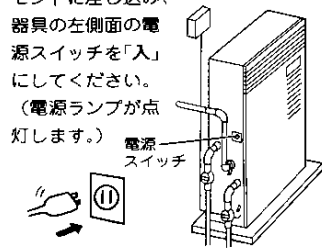
2. 給湯せんを開け、
水の出ることを確
認してから閉めて
ください。



3. ガス元せんを全開
にしてください。



4. 電源プラグをコン
セントに差し込み、
器具の左側面の電
源スイッチを「入」
にしてください。
(電源ランプが点
灯します。)



点火

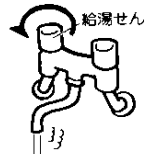
①運転スイッチを「入」にします



②給湯せんを開けます

- メインバーナーに点火し、お湯が出ます。

(点火と同時に、給湯燃焼ランプ
が点灯します。)



- 給湯燃焼ランプが約7秒すぎてもつかない場合は、燃焼ランプが点滅して風呂コントローラのブザーが鳴ります。給湯せんまたはシャワーせんを閉めてから操作をしておいてください。

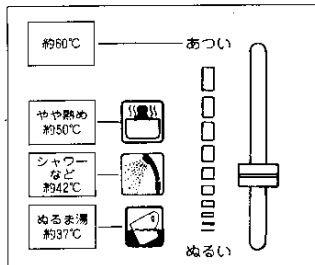
湯温調節

〈メインコントローラで湯温調節される場合〉

- 湯温切替優先ランプがついていることを確認したのち、湯温調節つまみで湯温を設定してください。湯温切替優先ランプが消えているときは湯温調節ができません。この場合は、風呂コントローラの湯温調節優先スイッチを「切」にしてください。メインコントローラの湯温調節優先ランプがつかます。(風呂コントローラの湯温調節優先ランプは消えます。)

①湯温調節つまみを調節します

- お使いになる湯温に調節してください。
(季節や湯量により多少変化することがあります。)

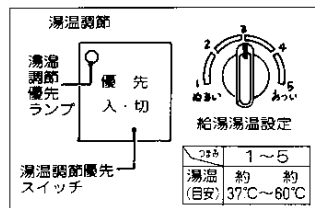


上記の温度は絵表示の中央に湯温調節つまみをセットしたときの目安です。

〈風呂コントローラで湯温調節される場合〉

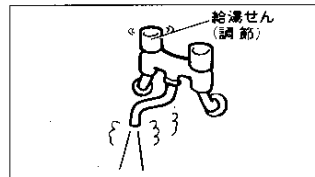
- 給湯湯温設定つまみをお使いになる湯温の数字にセットし、湯温調節優先ランプがついていることを確認したのち、メインコントローラの場合と同様に湯温調節をおこなってください。

(湯温調節優先ランプが消えている場合は湯温調節優先スイッチを「入」にしてください。)

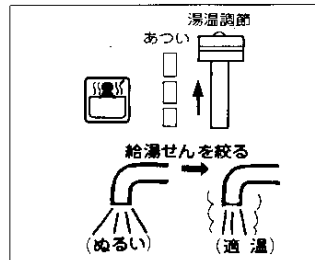


給湯

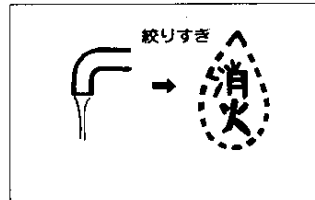
- 湯量の調節は、水道を使用される要領で給湯せんを調節してお使いください。



- 湯温調節つまみを「あつい」または「☐」にして湯量を多く出しますと、湯温が熱くならないことがあります。このような場合には、湯量を絞ってお使いください。



- 湯量を約3ℓ/分以下に絞りますと、メインバーナーの火が消えるようになっています。



夏期には

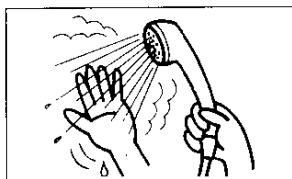
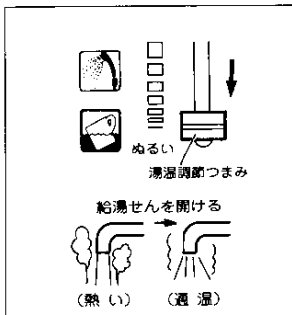
- 水温が30℃近くになりますと、湯温調節つまみを「☐」または「□」にセットしても湯量が少ない場合には湯温が熱くなります。このような場合は、湯量を多く出してお使いください。

〔注〕

- 給湯せんで湯量を調節しますと、水の中の空気が分離して、気泡となり、湯が白くなることがありますが、空気ですので何ら心配はありません。
- 2ヵ所でも同時使用されますと、ぬるくなったり湯量が少なくなることがあります。特に、シャワー使用中は同時使用はやめてください。

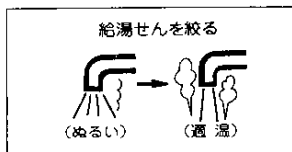
- シャワーをご使用のときは、いきなり体や頭にはかけずに、手で湯温を確認してからお使いください。

(シャワーをお使いになってお湯を止めた直後、再度お使いになるときや、湯量を急に絞ったときには、一瞬熱い湯が出る場合があります。)



冬期には

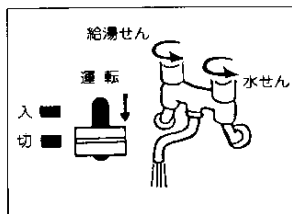
- 水温が低い時、高温がとれない場合は、給湯せんを絞ってお使いください。



ソーラシステムと接続している場合

- 夏期には入水温度が50℃を超えることがあります。50℃以下のお湯を使用されるとき(シャワー・台所・洗面・洗濯など)は、メインコントロールの運転スイッチを「切」にして、混合せんで湯温を調節してお使いください。

- 入水温度が60℃を超えまると、沸騰防止装置(入水温ハイカット)が働き自動的に燃焼をストップします。この安全装置は自動的に復帰します。(別売部品のソーラ用ハイリミットセット(4)36-054型を取付けている場合)

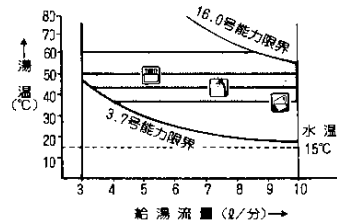


(参考(この特性より多少異なることがあります))

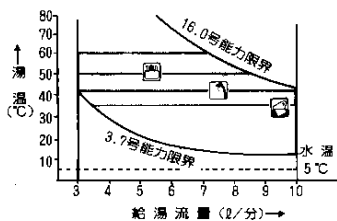
下表の□は器具の制御範囲内の給湯量と、湯温とを示します。給湯量は給湯せんで調節します。

□ 湯温調節可能範囲

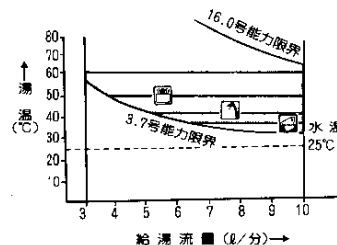
【春秋期】



【冬期】



【夏期】



消 火

①給湯せんを閉めます

- メインバーナーが消火し、給湯燃焼ランプが消えます。



- この器具には、ふろの沸かし方に自動沸き上げと、連続追いだきの2通りがあります。

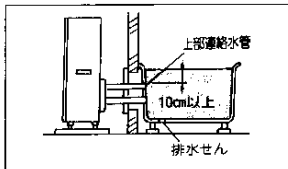
自動沸き上げ…設定温度に沸き上がると自動的に消火します。

連続追いだき…消火操作をおこなうまで燃焼し続けます。

水から沸き上げる場合は自動沸き上げで運転し、追いだきする場合は連続追いだきでお使いになることをおすすめします。

①浴そうに水(または湯)を入れます

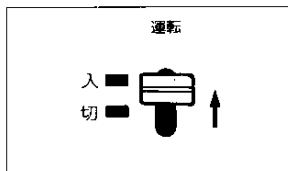
- 排水せんがきちんと入っていることを確かめてください。
- 水(または湯)を上部連絡水管より10cm以上高くなるまで入れてください。
- 貯水量はできるだけ、いつも同じ量にしてください。



点火(自動沸き上げの場合)

①運転スイッチを「入」にします

- メインコントローラの運転スイッチを「入」にしてください。



②ふろ湯温設定つまみをセットします

- 適切な湯温になる位置に合わせてください。
(セット方法は15ページをお読みください)

③自動沸き上げスイッチを「入」にする。

- 自動的にメインバーナーに点火し自動沸き上げランプとふろ燃焼ランプが点灯します。

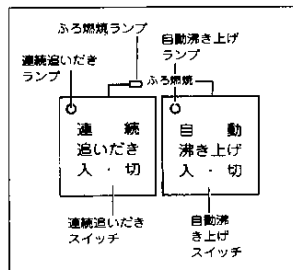
[注]

ふろ燃焼ランプが約7秒たっても点灯しないときは燃焼ランプが点滅してブザーが鳴ります。自動沸き上げスイッチを再度押して「切」にし自動沸き上げランプを消灯し、再度自動沸き上げスイッチを押して「入」にしてください。

- ふろ湯温設定つまみの設定温度に沸き上がると自動的に燃焼が止まり、ふろ燃焼ランプが消灯し約3分後にブザーが鳴ります。(約8秒間)同時に自動沸き上げランプが点滅をはじめます。

[注]

- 入浴されるときには、自動沸き上げスイッチを「切」にして、必ず浴そうの湯をかきまぜて湯温を確かめてください。
- 自動沸き上げの途中でふろ燃焼ランプが消灯しているときは、湯温検出中で異常ではありません。
- 前日の湯を再び利用される場合や、給湯器からの落とし込み、太陽熱温水器を利用されるときなど、浴そう内の水温が高い場合、自動沸き上げスイッチを「入」にしたとき、ふろ燃焼ランプが点灯と消灯を繰り返し、沸き上がるまでに時間がかかることがあります。このような場合は連続追いだきスイッチを「入」にするかふろ湯温設定つまみを「あつい」へ少しまわして沸き上げてください。
- 途中で消火したいときは、自動沸き上げスイッチを「切」にしてください。
- 沸き上げ中は、浴そう内の湯をかきまぜないでください。
(設定温度に沸き上がるまでに時間がかかることがあります)
- ふろ燃焼ランプ消灯後、浴そうの湯をかきまぜてもぬるい場合は、連続追いだきスイッチを「入」にして追いだきしてください。
- 自動沸き上げスイッチおよび連続追いだきスイッチを「入」のままメインコントローラの運転スイッチを「入」にしても点火しません。この場合は、自動沸き上げまたは、連続追いだきスイッチをいったん「切」にしたあと、点火操作をおこなってください。



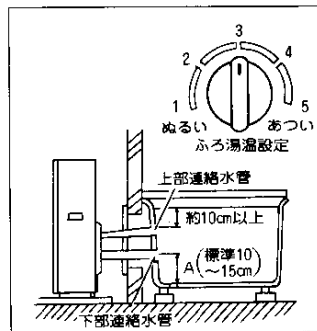
沸き上げ湯温調節

- 風呂コントローラのカバーを開け、ふろ湯温設定つまみを適切な位置に合わせてください。沸き上げてかきまぜた後の平均湯温で約35～50℃の範囲で調節できます。

- 風呂湯温設定は「3」でかきませた後湯温に沸き上がるように調整してありますが、水温・水量・施工状態により沸き上がり温度は多少変化します。

- 風呂湯温設定つまみの位置の目安(約42℃に沸き上げるための目安)

A寸法(cm)	位置の目安
5~10	「2」前後
標準 10~15	「3」前後
15~20	「4」前後

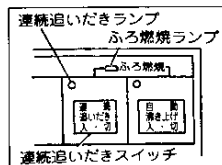


- 上記の表の目盛で一度試運転し、熱いときは左へ、ぬるいときは右へ回し、翌日再度試してください。湯温設定は1目盛で約2~3℃の温度差があります。
- 季節により好みの温度が変わるときや、沸き上がり温度がずれる場合は、必要に応じて湯温設定つまみで調整してください。
- 浴そうの貯水量が変われば沸き上がり温度は変化しますので、毎回の貯水量はできるだけ一定にしてください。

点火(連続追いだきの場合)

①連続追いだきスイッチを「入」にします

メインバーナーに点火し追いだきをはじめます。(連続追いだきランプとふろ燃焼ランプが点灯します。)



【注】

- 浴そうの上部連絡水管より10cm以上の水(または湯)が入っていることを確認してから操作してください。
- 入浴時は必ず浴そうの湯をかきまぜて湯温を確かめてください。

消火(自動沸き上げの場合)

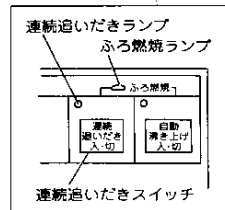
- 自動沸き上げで使用の場合は、湯が設定温度になりますと、自動的にメインバーナーが消火し、ふろ燃焼ランプが消えます。約3分後にブザーが響くと同時に自動沸き上げランプが点滅をはじめます(約8秒間)
- 途中で消火したいときは、自動沸き上げスイッチを「切」にしてください。(燃焼開始後約4分間は、ふろ湯温設定つまみ「ぬるい」の方向へ回しても燃焼は止まりません。)

消火(連続追いだきの場合)

- 連続追いだきスイッチを「切」にします。メインバーナーが消火し、ふろ燃焼ランプ、連続追いだきランプが消灯します。

【注】

- 連続追いだきの場合は、沸き上げ検知しませんので湯温を適時確認して連続追いだきスイッチを「切」にしてください。
- 給湯せんでお湯を使っているときの「自動沸き上げ」、「連続追いだき」の使用はできません。



■運転モニターの表示と処置方法

運転モニター		表示内容と処置方法
ランプの表示	ブザー音	
自動沸き上げランプ(緑)点滅	8秒間鳴る	自動沸き上げ完了です。
ふろ燃焼ランプ(赤)と自動沸き上げランプ(緑)点滅 または ふろ燃焼ランプ(赤)と連続追いだきランプ(緑)点滅	8秒間鳴る	ふろの空だきまたは沸かし過ぎです。 (浴そうの水がなくなったり、沸かし過ぎて高温になっています。器具が高温になっていますので、注意して、水を入れてください。)
給湯燃焼ランプ(赤)点滅 または ふろ燃焼ランプ(赤)点滅	連続的に鳴る	ガス元せんが十分開いてないか、ガスがなくなったときに表示します。ガス元せんを十分開き2~3回点火操作を繰り返してください。 それでも正常にもどらない場合は器具が故障していますので、器具左側の運転スイッチを「切」にし、ガス元せん、給水せんを閉め、お求めの販売店またはよりの大阪ガス支社にご連絡ください。
①給湯燃焼ランプ(赤)と自動沸き上げランプ(緑)点滅	連続的に鳴る	器具が故障しています。器具左側の運転スイッチを「切」にし、ガス元せん・給水せんを開けてください。そして、お求めの販売店またはよりの大阪ガス支社にご連絡ください。 (ただし、浴そうに水がない状態で点火して空だきをしたときも4の運転モニターを表示します。このときは器具が高温になっていますので注意して水を入れてください。)
②ふろ燃焼ランプ(赤)と自動沸き上げランプ(緑)点滅		
③ふろ燃焼ランプ(赤)と連続追いだきランプ(緑)点滅		
④全ランプ(赤・緑)点滅		

- 停電時は給湯せんを閉め、メインコントローラの運転スイッチを「切」にしてください。
- 再通電したときは、8ページ、13ページおよび15ページの「**点火**」に従って操作してください。

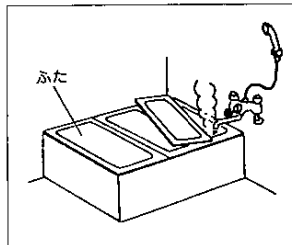
- 断水時は給湯せんを閉め、メインコントローラの運転スイッチを「切」にしてください。
- 再通水したときは、8ページの「**点火**」に従って操作してください。

こまめに湯温切替を！

- 水の混合は避け、用途に合わせ、こまめに湯温切替すると、より経済的です。
(混合水せんで湯温調節しますと、調節する間に流れる水とガスがムダになります。)

ふろへの給湯・沸き上げは……

- 給湯で湯を入れられる場合は、入浴される湯温より少し熱めで給湯し、浴そうにはふたをして、放熱ロスを防いでください。
- ご家族全員が続けて入れる頃に浴そうに給湯もしくは沸き上がるようにしましょう。



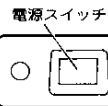
- 点火しなかったり、ご使用中にメインバーナーが消火したときは、24～25ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」に従ってください。
また、次の安全装置が働いた場合には、メインコントローラの運転スイッチを「切」にし、器具の左側面の電源スイッチを「切」にし、ガス元せん・給水元せんを閉めてから、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

1. 運転スイッチを切る。



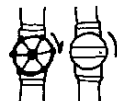
メイン
コントローラ

2. 電源スイッチを切る。



器具の左側

3. 給水元せん・ガス元せんを閉める。



元 せ ん

4. 購入店またはもよりの大阪ガス支社へ



通 話

消火安全装置(フレームロッド式)

- メイン・バーナーの炎が消えたときは、安全装置が働いて自動的にガスが止まります。

過圧逃し弁

- 器具内の水圧が異常に上昇したときに作動し、器具内の圧力を下げて、器具の損傷を防止します。

給湯空だき安全装置(バイメタル式)

- 万一、メインバーナーの火が消えずに、湯温が異常温度上昇したときは、ガスを自動的にストップします。この安全装置は自動的に復帰します。

ふろ空だき安全装置(バイメタル式)

- 排水せんなどからの水漏れによりふろがまを空だきしたときは、熱交換器の温度上昇を感知して、ふろがまを自動的にストップします。この安全装置は自動的に復帰します。

器体過熱防止装置(温度ヒューズ)

- 万一、器具が異常温度上昇したときは、ガスを自動的にストップします。この装置が作動した場合は、温度ヒューズの取り替えが必要です。

漏電安全装置

- 器具内の電気回路に異常がおこり、漏電などの危険が生じると、電気を自動的に停止します。この安全装置は自動復帰しません。電源プラグを持って、コンセントから抜き、再度コンセントに差し込んでも異常が直らないときは、電源プラグを抜き、お求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

たまった水は飲まないでください

- 器具内に長時間たまった水は飲用または調理に用いないでください。

健浴剤や洗剤についてのご注意

- 硫黄・酸・アルカリを含んだ健浴剤や洗剤は熱交換器が腐食する原因となるものがありますので、健浴剤等のご注意文をじゅうぶんご参照ください。

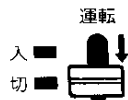
雷時の注意

- 激しい雷が接近したときは、使用を中止し電源プラグを抜いてください。

お出かけや、長時間使用しない場合

- メインコントローラの運転スイッチ、器具左側面の電源スイッチを「切」にし(電源ランプが消えます)ガス元せんを開めてください。

1. 運転スイッチを「切」にする。
2. 電源スイッチを「切」にする。
3. ガス元せんを開める。



メインコントローラ



器具の左側



元せん



- 凍結すると器具や給湯配管が破損して、水漏れをおこしたり、器具が異常(空だきなど)をおこす危険があります。
- 凍結による修理は有料です。

①凍結予防ヒーターによる方法

- この器具には、外気温が0℃近くになるとサーモスタットの働きで自動的に器具内を保温する凍結予防ヒーターを組み込んでいます。

- 凍結予防ヒーターは電源プラグがはずれていると作動しません。絶対に電源プラグは抜かないでください。



- 凍結予防ヒーターは、器具左側面の電源スイッチ、およびメインコントローラの運転スイッチの「入・切」に関係なく作動します。

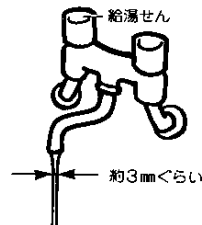
[注]

- 外気温が極端に低くなりますと、この凍結予防ヒーターだけでは効果ありません。このような場合は、次の②または③の方法を行ってください。
- 停電時には、凍結予防ヒーターが作動しませんので、次の②または③の方法を行ってください。

②給湯せんから水を流す方法

- ガス元せんを閉め、メインコントローラの運転スイッチを「切」にして、お風呂の給湯せんを開け、1分間に約200cc(牛乳びん1本ぐらい)の水を浴そうに流し込んでください。

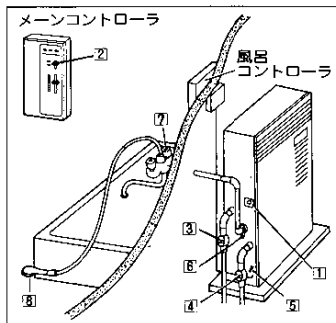
- 流量が不安定なことがありますので、念のため約30分後にもう一度流量をご確認ください。



③水抜きによる方法

次の順序で行なってください。

- ①器具の電源スイッチ①を「切」にし、メインコントローラ②の運転スイッチを「切」にする。
- ②電源プラグを抜いてガス元せん③を閉める。
- ④水抜きせん④を開ける。
- ⑤給湯せん⑥またはシャワーせん（シャワーを取りつけている場合）を全部開ける。
- ⑥シャワーヘッド⑦を床面まで下げる。



- ⑧給湯せん⑧およびシャワーヘッド⑧

と水抜きせん④、④から水が抜けるのを確認してください。

- 次にお使いになるまで、このままにしておいてください。
(水抜きせん④、⑥をはずしたままにしておいてください。)

〈水抜き後の使用方法〉

- ①水抜きせん④、⑥を元通りしっかり閉める。
- ②ガス元せんを止めた状態および器具左側面の電源スイッチ①を、「切」にした状態で給水元せん③を開け、給湯せん⑤およびシャワーヘッド⑦から水が出ることを確かめたのち給湯せん⑤およびシャワーせんを閉める。
- ③8ページの「使用手順」に従ってお使いください。

ご注意

- もし凍結して水が出ないときは、使用をひかえメインコントローラの運転スイッチを「切」にした状態で、給湯せん⑤を開け、水が出るまで待ってからお使いください。
- ①および③の方法では、給水・給湯配管や、バルブ類の凍結防止はできません。凍結防止のため配管には、必ず保温材を巻いてください。

凍結したとき

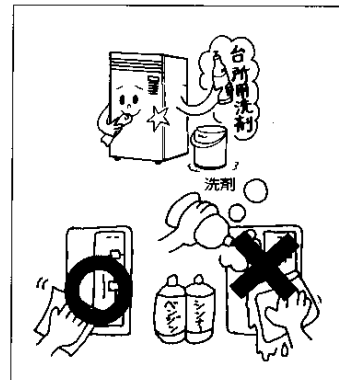
- 凍結した場合、ガス元せん・給水元せんを閉めてください。凍結したまま使われますと器具に異常が生じる場合があります。
- 凍結が解けたあと、水漏れがないのを確認のうえご使用ください。
- 器具や配管が破損しますと、高額の修理費用がかかる場合があります。(有料)

- 器具および配管より水漏れ・ガス漏れはありませんか。
(ガス漏れは、配管接続部に石けん水などを付けて調べてください)
- 運転中に、器具から異常音が聞こえませんか。
- 器具の外観に異常は見られませんか。
- 器具のまわりに燃えやすいものはありませんか。

- 器具の表面が汚れたときは、布またはスポンジに台所用洗剤(中性洗剤)を付けてふき取ってください。シンナー・ベンジンなどではふかないでください。

- コントローラ部の表面が汚れたときには、水を付けた布をたかた絞って、軽くふき取ってください。洗剤・シンナー・ベンジンなどは使用しないでください。

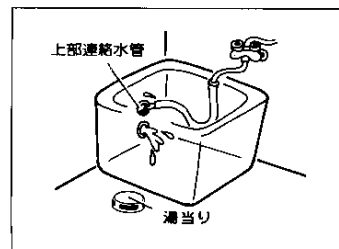
〔注〕コントローラの内部には電気部品が入っていますので、ぬらさないようにしてください。



風呂用熱交換器のお手入れ

- 上部連絡水管の湯当りはずし、水道のホースの先を上下交互に入れ、水を勢いよく出して、熱交換器内を洗ってください。

(熱交換器内には使用中の湯あかが付着します。半年に1回程度お手入れをおこなってください。)



現象	原因	処置方法	お	さ	ま	支
湯温調節が適切でない		「使用手順」の「湯温調節」を参照する	*			
ノズル詰まり	△	点検を依頼する (他に原因がないとき)	*			
安全装置が作動	○	点検を依頼する (度々作動する場合)	*			
水流スイッチの故障	△	点検を依頼する 交換を依頼する (他に原因がないとき)	*			
電気部品の故障	○	点検を依頼する	*			
停電	○	再通電するまで待つ	*			
風呂コントローラの優先スイッチの「入」「切」が適切でない	○	風呂コントローラの優先スイッチの「入」「切」を正しく戻し、湯温調節つまみを好みの位置にする	*			
漏電安全装置の作動・故障	○	点検を依頼する	*			
浴そう内の水温が高い	○	ふる湯温調節つまみを「あつい」にするまたは湯温調節スイッチを入にする	*			

- 必ずガス元せん・給水元せんを閉め、電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いて、水抜きをおこなってください。
(水抜きをしないと、冬期は凍結による器具の破損のおそれがあります)

●24～25ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。

●確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないで買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。なお、ご連絡いただいたときは、次のことをお知らせください。

- (1)品名……………(ガス風呂釜)
- (2)品番……………側板左下部に貼付してあります。

(N)31-054

大阪ガス株式会社 [05]

(3)現象……………(できるだけ詳しく)

(4)道順……………(できるだけ詳しく)

ガスには都市ガス14種類およびLPガスの区分があります

●ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご相談ください。

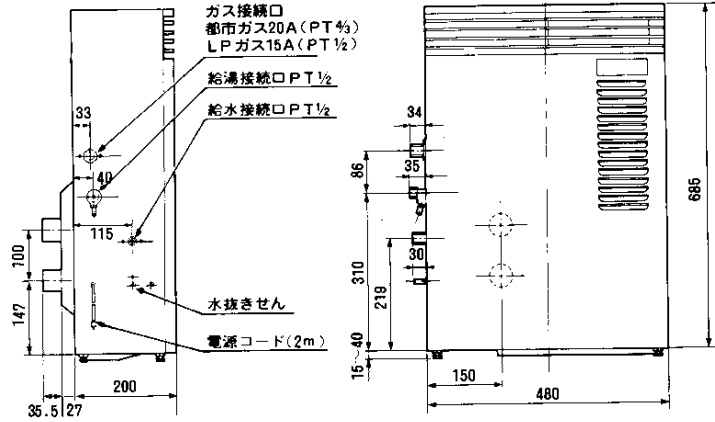
この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

この器具には保証書がついています

●このガス風呂釜は保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。

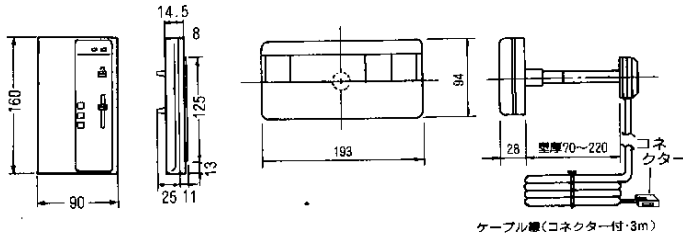
保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

(単位：mm)



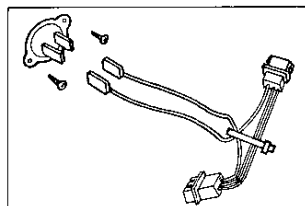
メインコントローラ

風呂
コントローラ



品 種		31-054型			
項目	ガス 種 類	都市ガス6C用	都市ガス13A用	都市ガス6A用	LPガス用
寸 法 (mm)	高 さ	700			
	幅	480			
	奥 行 き	200			
重 量 (kg)	26				
標 準 インプット (kcal/h)	風呂釜	10,000			
	湯沸器	30,100			
	同時使用	39,000			
最 大 消 費 ガ ス 量 (m ³ /h)	風呂釜	2.4	0.96	1.5	0.83(kg/h)
	湯沸器(大)	7.1	2.9	4.6	2.5(kg/h)
	同時使用	9.2	3.7	5.9	3.3(kg/h)
消 費 電 力 (W)	最大燃焼時95・低温作動ヒーター169				
点 火 方 式	連続スパーク点火方式				
熱 交 換 器	方 式	2缶2水路			
	材 質	風呂釜：ステンレス・湯沸器：銅製			
最 低 作 動 水 圧 (kg/cm ²)	0.2				
最 低 作 動 水 量 (ℓ/分)	3.5				
出 湯 能 力 (湯沸器)	16号~3.7号				
操 作 方 式	メインコントローラ、風呂コントローラによるリモコン操作				
湯沸器能力切替え	無段階				
接 続	ガ ス	20A		15A	
	連 結 水 管	45mmφ×ピッチ100mm			
	給 水	15A			
	給 湯	15A			
電 気	器具本体電源AC100V(電源コード2m付)				
本体とコントローラとの 接 続	メインコントローラ……24V低圧用8芯ケーブル(別売) 風呂コントローラ……24V低圧用12芯ケーブル(3m付)				
安 全 装 置	消火安全装置(フレームロッド式)、風呂空だき安全装置、給湯空だき安全装置、器体過熱防止装置、過圧逃し弁、漏電安全装置				
凍 結 防 止 対 策	低温作動ヒーター				
付 属 品	メインコントローラ、風呂コントローラ(12芯ケーブル3m付)、浴そう連絡ゴム管2コ、縛付けバンド4コ、網管継手袋ナット2コ、固定金具一式、アース棒(2.5mリード線付)				
別 売 部 品	8芯ケーブル38-138型、連結水管 { 36-150型・151型・152型(銅製) 36-153型・154型・155型(ステンレス製) 厚壁用スリーブ：36-050型、排気カバー：36-055型 ソーラ用ハイリミットセット：36-054型				
日 水 協 認 可 登 録 番 号	L-357				
B L 認 可 番 号	K T 1883				

●機器本体より第3種補地工事(アース)が必要です。



おねがい

ガスくさいときはお部屋の元せんを閉め、窓を全開にしてから(火気に注意して)、大阪ガス支社・サービスステーションにご連絡ください

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

本社ガスビルサービスセンター	〒541 大阪市東区平野町5丁目1	☎大阪 06 (202) 2221
南支社	〒557 大阪市西成区玉出東2丁目9番41号	☎大阪 06 (652) 0001
北支社	〒532 大阪市淀川区十三本町3丁目8番35号	☎大阪 06 (301) 1251
堺支社	〒590 堺市住吉橋町2丁目2番19号	☎堺 0722 (38) 1131
北摂支社	〒569 高槻市藤の里町3-9番6号	☎高槻 0726 (71) 0361
阪神支社	〒682 西宮市和上町4番11号	☎西宮 0798 (26) 3101
東部支社	〒578 東大阪市稲葉2丁目3番17号	☎河内 0729 (62) 1131
京阪支社	〒573 枚乃市西田宮町1-8番17号	☎枚方 0720 (41) 1251
神戸支社	〒650 神戸市中央区相生町5丁目13番10号	☎神戸 078 (576) 5231
京都支社	〒604 京都市中京区烏丸御池植屋町358	☎京都 075 (231) 8151
奈良支社	〒631 奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈良 0742 (44) 1111
和歌山支社	〒640 和歌山市本町1丁目1-1	☎和歌山 0734 (31) 2481
姫路支社	〒670 姫路市神屋町4丁目8	☎姫路 0792 (85) 2221
東播支社	〒675 加古川市加古川町粟津2-9-1	☎加古川 0794 (21) 1801
豊岡支社	〒668 豊岡市三坂町6丁目57番地	☎豊岡 07962 (3) 2221
湖南支社	〒525 草津市谷分町字荒堀680の1	☎草津 0775 (62) 5311
彦根支社	〒522 彦根市大東町12-11	☎彦根 0749 (22) 3131
長浜営業所	〒526 長浜市南呉服町3番4号	☎長浜 0749 (62) 7171

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

大阪ガス株式会社